

大項目	読むこと
小項目	特殊音節の読み
タイトル (教材名)	ちいさい「っ」はどこ？
目的 身につけてほしい力	促音(ちいさい「っ」)が単語のどこに表記されるかを理解することで、促音を含む単語を適切に読むことができる。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	
教材の使用方法	<ol style="list-style-type: none"> ① イラスト(画像では「もっきん」)を黒板に示し、児童生徒は読みを答える。 ② 児童生徒は、「もっきん」の動作化をする(パン、グー、パン、パン) ③ イラストの下に「もきん」と書き、促音(ちいさい「っ」)がどこに入るかを児童生徒にきく。 ④ 児童生徒は㊦と書かれたマグネットを使い、「っ」の入る場所にマグネットを貼る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・間違った例(「もきっん」「もきんっ」)なども示すことで、正確な表記の理解を促すことができます。 ・体を動かす(マグネットを黒板に貼る)という体験的な活動を行うことで、学習内容の定着が図りやすい。 ・促音の位置を示すことで、「特殊音節の書き」の定着にも有効であると考えられます。 ・参考文献 「多層指導モデル MIM 読みのアセスメント・指導パッケージ」(海津亜希子、学研、2010年)